



AGREE-Recommendation EXcellence (AGREE-REX) Reporting Checklist 日本語訳

このチェックリストは診療ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）の推奨に関する記載の手引きである。

AGREE-REXに関連する論文が、査読付き雑誌に投稿されている。論文が入手可能になれば、ここで引用する。

AGREE-REX Reporting Checklistに関する詳細については、AGREE Enterprise ウェブサイト（www.agreetrust.org）を閲覧すること。

チェックリスト項目	記載の基準	ページ #
領域 1. 臨床への適用可能性		
<p>1. エビデンス</p> <p>以下の基準は、推奨を支持するエビデンスに関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> エビデンスを支持する研究デザインに関するバイアスリスク <input type="checkbox"/> 結果の一貫性（複数の研究で結果がほぼ同じであること） <input type="checkbox"/> 臨床／健康問題へのエビデンスの直接性（関心事となる具体的な介入、集団およびアウトカム）が考慮されている。 <input type="checkbox"/> 結果の精確さ（例：個々の研究またはメタアナリシスの信頼区間の幅） <input type="checkbox"/> 益と害の大きさ <input type="checkbox"/> 出版バイアスの可能性 <input type="checkbox"/> 交絡因子の可能性（該当する場合） <input type="checkbox"/> 用量－反応勾配（該当する場合） 	
<p>2. 利用対象者への適用可能性</p> <p>以下の基準は、利用対象者への推奨の適用可能性に関連するものである。</p>	<p>推奨とそれを支持する文書の作成時および記載時に考慮すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 想定される利用対象者と関係がある臨床／健康問題 <input type="checkbox"/> 利用対象者の専門性がカバーする範囲と対象となる患者／集団の適合 <input type="checkbox"/> 利用対象者の専門性がカバーする範囲と推奨の適合 <input type="checkbox"/> 推奨の方向性（特定の行為に賛成か反対か）と益と害のトレードオフの適合 <input type="checkbox"/> 推奨の確実性や強さと益と害のトレードオフの適合 	
<p>3. 患者／集団への適用可能性</p> <p>以下の基準は、患者／集団への推奨の適用可能性に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 対象となる患者／集団にとって意味があり、エビデンスに基づいて作成する際に考慮されたアウトカム <input type="checkbox"/> 患者／集団にとって意味があるアウトカムに影響を与えうる推奨の適用 <input type="checkbox"/> 患者に関するアウトカムの重要性をどのように判定したか <input type="checkbox"/> 個々の患者（または特定の患者グループ）や集団全体に適用できるように、推奨を調整する方法（年齢や性別、民族性、併存疾患に基づくなど） 	

領域 2: 価値観と希望	
<p>4. 利用対象者の価値観と希望</p> <p>以下の基準は利用対象者の価値観と希望に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 推奨の適用に関連して考慮された利用対象者の価値観と希望 <input type="checkbox"/> 利用対象者が推奨を受け入れられるかどうかに関わる因子（例：新たな臨床技能を習得することや、現在の手順を改めることを受け入れられるかどうか） <input type="checkbox"/> 意思決定過程において、臨床上柔軟に個々の患者に合わせて適用することが適切な推奨と、それが適さない推奨との区別 <input type="checkbox"/> 好ましい選択肢（該当する場合）と、それが好ましい選択肢である理由と併せて、臨床コミュニティが受け入れられる推奨の範囲
<p>5. 患者／集団の価値観と希望</p> <p>以下の基準は患者／集団の価値観と希望に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 推奨に関連して考慮された対象集団（患者、家族、介護者など）の価値観と希望 <input type="checkbox"/> 患者／集団が推奨を受け入れられるかどうかに関わり、考慮された因子（例：意欲、アウトカムを達成する能力、期待、感じられる効果） <input type="checkbox"/> 意思決定過程において患者の選択や価値観が大きな役割を果たすと考えられる推奨と、それらが小さな役割しか果たさないと考えられる推奨の区別 <input type="checkbox"/> 患者の意思決定を支援するツールが有益であるかどうかに関する記載
<p>6. 政策立案者／意思決定者の価値観と希望</p> <p>以下の基準は政策立案者／意思決定者の価値観と希望に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと（該当する場合）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 推奨の作成において考慮された、政策立案者や意思決定者のニーズ <input type="checkbox"/> 推奨の作成において考慮された、政策や制度レベルの意思決定に対する推奨の影響 <input type="checkbox"/> 推奨の作成において考慮された、健康格差の是正に対する推奨の影響 <input type="checkbox"/> 推奨に合わせて政策に変更を加える必要がある場合の説明
<p>7. ガイドライン作成者の価値観と希望</p> <p>以下の基準はガイドライン作成者の価値観と希望のほか、その他の利害関係者の価値観と希望の統合に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ガイドライン作成者が作成過程に持ち込んだ価値観と希望 <input type="checkbox"/> ガイドライン作成者の価値観と希望が益と害のバランスに関する解釈にいかなる影響を及ぼしたか <input type="checkbox"/> 価値観と希望が利害関係者の間で異なる場合に、価値観と希望を統合するために用いた方法

領域3 実行可能性		
<p>8. 目的</p> <p>以下の基準はガイドラインの実行目的のほか、予想されるガイドラインの影響に関連するものである。</p>	<p>推奨とそれを支持する文書の作成時および記載時に考慮すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> ガイドラインの推奨が実行目的に沿っていること（例：アドボカシーのため、政策変更のため） <input type="checkbox"/> 推奨の採用が個人（患者、集団、利用対象者など）や組織、システムに及ぼすことが予想される影響 	
<p>9. 現場での適用と採用</p> <p>以下の基準は現場での推奨の適用と採用に関連するものである。</p>	<p>記載すべきこと：</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現在の実臨床に必要な変更の種類と程度 <input type="checkbox"/> 現場での採用が相対的に妥当な推奨と相対的に妥当でない推奨の区別 <input type="checkbox"/> 普及を成功させる上で重要な因子 <input type="checkbox"/> 推奨のほか、実行者のためのツールや助言の採用に影響を及ぼす可能性がある問題。以下のものなど。 <ul style="list-style-type: none"> ○ 推奨を現場に合わせる方法に関する助言 ○ 推奨を実行するのに必要な人的・物的資源とその関連費用 ○ 経済分析 ○ 推奨を実行するのに必要な能力や訓練 ○ 推奨の適用を実行し、監視するのに必要なデータ ○ 医療提供者や患者／集団、政策立案者が推奨を受け入れられるかどうかに関わる障壁を克服する方法 ○ 推奨の実行状況と質の改善を測定するのに用いることができる基準 	